

2019～2022 年度

# 箱根町教育方針

本教育方針は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）第 17 条第 2 項の規定に基づく「教育振興基本計画」に位置付けるものである。

箱根町教育委員会

# I 箱根町の教育に関する大綱

## 〔箱根町教育基本方針〕

- 1) 3小学校・1中学校は、児童・生徒数が減少しても、統廃合せず現状維持を図る。
- 2) 園・小・中学校の教育については、一貫教育を継続して行う。
- 3) 箱根町の園児・児童・生徒像は、『先人からの文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根の郷土を愛し、貢献できる人』を培う教育を行う。

### 《具現化を図るための合言葉》

『箱根を愛し かしこく やさしく たくましく』

- 4) 箱根で培う箱根の人の実現を目指すために『箱根教育』を積極的に推進する。

＝ 箱根で培う人物像の実現を目指すために、教育振興計画における第3期の基盤整備として、『コミュニケーション能力向上』を柱とした基盤整備を行う。＝

## II 『箱根教育（箱根で培う箱根の人）』の基本概要

＝ 箱根教育の合言葉 ＝

『 箱根を愛し かしこく やさしく たくましく 』

＝ 重点項目 ＝

合言葉	園	小・中学校
箱根を愛し (箱育)	○地域教育の推進	
かしこく (知育)	○基礎・基本の定着	
	○読み聞かせの推進	○思考力・表現力の育成 ○読書活動の推進 ○英語教育の充実
やさしく (徳育)	○自他を大切にする豊かな心の育成	
たくましく (体育)	○体力向上の推進	

＝ プロジェクト ＝

- ① 園・小・中一貫教育推進運営委員会
- ② 観光学習推進プロジェクト
- ③ 学習内容定着プロジェクト
- ④ 箱根英語教育推進プロジェクト
- ⑤ 給食献立研究プロジェクト
- ⑥ ICT活用プロジェクト
- ⑦ 学校図書教育推進委員会
- ⑧ 幼・保・小連携推進委員会

### Ⅲ 箱根教育の具体的重点方針（第3期教育基盤整備 一別紙「教育振興計画」参照一）

#### 第3期（2019～2022年度）重点方針のテーマ

＝ コミュニケーション能力向上を図る ＝

##### 〔 ① 少子化 〕

- i 少子化に対応した学校組織体制研究（小学校教科担任制）
  - ・教育課程コーディネーターを配置
  - ・小学校教科担任制検証委員会における効果検証
- ii 一貫教育組織再編
  - ・園⇔小・小⇔小・小⇔中の積極的な教員交流
- iii コミュニティ・スクール設置
  - ・地域と学校との円滑な連携

##### 〔 ② 基礎学力の定着 〕

- i 英語が香る学校づくり <英語の日常化>
  - ・校内英語放送
  - ・英語の日
  - ・英語教諭学校間交流
  - ・デジタル教科書検討
  - ・地域教育への英語導入
- ii 「思考力」・「表現力」を育成する学習
  - ・【力点教科】音楽・図工・国語[書く領域]
  - ・考え・議論する授業の研究

##### 〔 ③ 地域を知る 〕

- ・地域学習の再編「私たちの町活性化アクションプロジェクト（小1～中3）体系化」

##### 〔 ④ 読書に関する意識 〕

- ・一貫教育図書体制整備（児童・生徒の姿が見える図書体制）

##### 〔 ⑤ 自己肯定感の意識・コミュニケーション能力 〕

- ・自己肯定感100%の学級経営（道徳の日常化）

##### 〔 ⑥ 支援を要する児童生徒数 〕

- ・教育相談センター相談体制の拡充（相談員・カウンセラーの拡充、相談センター施設整備）
- ・通級指導教室「スマイル」開設（各小学校）

1 第3期（2019～2022年度） 箱根町園・小・中学校 共有・個性化目標

合言葉	重点項目	共有	個性化	
箱根を愛し（箱育）	○地域教育の推進 (園) ・地域の人や自然・文化に進んで関わるができる子	湯幼	●地域の人や行事・文化に積極的に触れる子	
		宮保	●自分や友達に住んでいる地域を知り、興味関心を持つ子	
		仙幼	●好奇心をもって周囲の人や物に関わっていく子	
		箱幼	●地域の行事や文化に積極的にふれることができる子	
	(学校) ・箱根を知り、語れる子	湯小	●地域の良さに気づき、発信しようとする子	
		森小	●箱根のよさに気づき、それを積極的に発信しようとする子	
		仙小	●地域の良さが分かり、身の周りの人に工夫して発信することができる子	
		箱中	●箱根町の良さが分かり、箱根のことを語るができる生徒 ●箱根町をよりよくするために、自分が何をすべきかを考え行動できる生徒	
かしこく（知育）	○読み聞かせの推進 (園) ・「読み聞かせ」が好きな子	湯幼	●絵本の世界を楽しみ、創造力を膨らまして楽しめる子	
		宮保	●読み聞かせを楽しみ、絵本が好きな子ども	
		仙幼	●絵本に親しみを持ってもっといろいろな絵本を見たいと思う子	
		箱幼	●読み聞かせの日を楽しみにできる子	
	○基礎・基本の定着 (園) ・返事・あいさつがしっかりとできる子	湯幼	●朝、笑顔で元気に挨拶して登園する子	
		宮保	●笑顔で元気にあいさつする子	
		仙幼	●笑顔で元気よくあいさつのできる子	
		箱幼	●朝、元気にあいさつして登園できる子	
	○思考力・表現力の育成 (学校) ・学習の基礎・基本が身に付いた子	湯小	●学習の基本が身につけている子	
		森小	●読むこと・書くこと・計算することなどの基礎的なスキルを身に付けた子	
		仙小	●主体的・計画的に朝学習・家庭学習に取り組むことができる子	
		箱中	●既習漢字を使い文章を書くことができる生徒 ●分からないことやできないことを、自分の学習につなげることができる生徒	

合言葉	重点項目	共有	個性化	
かしこく（知育）	○○基礎・基本の定着 ○○思考力・表現力の育成	(学校) ・自分で考え、表現できる子	湯小	●自分の考えを楽しんで書いたり話したりする子
			森小	●自分の考えを書いたり話したりすることを楽しむ子
			仙小	●自分の考えをノートに書いて整理し、友達と伝え合うことができる子
			箱中	●自分の考えを書いて整理し、他者と伝え合うことができる生徒 ●相手を尊重しつつ、さわやかな自己主張ができる生徒
	○読書活動の推進	(学校) ・主体的・能動的に読書する子	湯小	●時間を見つけて読書を楽しむ子
			森小	●隙間時間に積極的に読書しようとする子 ●家庭でもすすんで読書しようとする子
			仙小	●読みたい本を考えて選び、読書を楽しむことができる子
			箱中	●本に興味を持ち、時間を見つけて読書を楽しむ生徒
	○英語教育の充実	(学校) ・英語に興味・関心を持てる子	湯小	●楽しんで英語のあいさつをする子
			森小	●臆せず、恥ずかしがらず積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする子
			仙小	●授業で学んだ英語をつかって、積極的に表現しようとする子
			箱中	●積極的に英検にチャレンジする生徒 ●おもてなし英語を使って外国人と話ができる生徒
やさしく（徳育）	(園) ・相手を許したり、ほめたりすることができる子	湯幼	●心優しく思いやりがあり、友達を大切にする子	
		宮保	●友だちのことを大切にして生活する子	
		仙幼	●友達と一緒に様々な体験を重ね感情の交流ができる子	
		箱幼	●友だちのことも考えて生活できる子	
	(園) ・自分らしさを発揮して生活できる子	湯幼	●園が大好きで喜んで登園してくる子	
		宮保	●園が大好きで喜んで登園する子	
		仙幼	●友達の思っていることを認めて受けとめられる子	
		箱幼	●園が大好きで、喜んで登園してくる子	

合言葉	重点項目	共有	個性化	
やさしく(徳育)	○自他を大切に 豊かな心の育成	(学校) ・相手の気持ちを 考えて行動する子	湯小	●友達と力を合わせて活動できる子
			森小	●いつでも・どこでも・誰にでも笑顔であいさつができる子 ●ありがとう・ごめんねが言える子
			仙小	●友達や下級生の良いところに気付き、みんなの場でほめることができる子
			箱中	●地域の人、友達等に明るくあいさつができる生徒 ●困っている人やトラブルを見逃さず、解決に向けて行動できる生徒
たくましく(体育)	○体力向上の推進	(園・学校) ・体を動かすことが好きな子	湯幼	●縄跳びに進んで挑戦する子
			宮保	●毎日戸外に出て運動遊びをする子
			仙幼	●いろいろな遊びの中で身体を十分動かし楽しんで取り組む子
			箱幼	●外遊びの時に、園庭を元気に走れる子
			湯小	●楽しんで運動に取り組む子
			森小	●長縄大会・短縄ギネスに挑戦・元気アップ体力アップ週間に積極的に取り組む子
			仙小	●体力つくりの目標を決め、粘り強く頑張ることができる子
箱中	●自己目標の達成に向けてチャレンジする生徒			

## 2 園・小・中学校の特色づくり・「ありがとう」のある園・学校づくり

特色づくり	湯幼	●四季折々の花や実のなる木が溢れる園づくり
	宮保	●子どもの作品であふれる園づくり(みやぎの子ども美術館)
	仙幼	●一人一人を大切に見守り心豊かで意欲を育てる園づくり
	箱幼	●一人一人にきめ細かな保育が展開できる園づくり
	湯小	●美術あふれる学校
	森小	●歌声響く学校
	仙小	●異学年交流を生かした学校づくり
	箱中	●国際観光地箱根を生かした学校づくり
ありがとう	4園	●「ありがとう」と言う声が響く園づくり
	湯小	●「ありがとう」を伝え合う学校(気づき清掃 他)
	森小	●気づき清掃に真剣に取り組む子
	仙小	●進んで働く姿が見られる学校づくり
	箱中	●感謝の気持ちを気づき清掃で実践する生徒がいる学校

## 【生涯学習課】

### 1 生涯学習目標

『箱根を知り、箱根を語れる人づくりと輪づくり』

### 2 箱根教育の具現化

#### (1) 地域ぐるみ健全育成活動の推進… (箱) (知) (徳)

- ・家庭教育支援として、家庭教育講座の継続実施、定着化を図ります。
- ・青少年健全育成のための地域活動を支援します。
- ・放課後の子どもの居場所づくりのための『放課後子ども教室』を湯本小学校で実施します。

#### (2) 文化・自然遺産の保護と活用… (箱)

- ・箱根旧街道杉並木保存管理計画策定をはじめ、文化財の保護活動を推進します。
- ・文化遺産啓発のため、冊子の刊行や文化財探訪会を実施します。
- ・文化遺産保護意識の醸成を図り、文化財ボランティアの育成を図ります。

#### (3) 健康推進・体力向上に資する生涯スポーツの振興… (体)

- ・地域スポーツ活動の推進を図ります。
- ・老若男女誰でもが親しめるニュースポーツの普及に努めます。

#### (4) 生涯学習施設の機能と運営の充実… (箱) (知) (体)

生涯学習施設は、生涯学習活動支援の中でも、学習の場の提供を行う拠点となる重要な役割を持っています。拠点5施設は、それぞれ次のような「コンセプト」を持ち、25年度教育方針に規定した10年間という期間を見据え（31年度で7年度目）、各施設の運営を展開していきます。

施設名	コンセプト
箱根町社会教育センター等	人と文化の集積処
箱根町立郷土資料館	今と昔を伝える箱根の情報館
石仏群と歴史館	俳句と歴史の里への誘い処
箱根関所・関所資料館	江戸時代の体感処
箱根町総合体育館	健康と体づくりの発信地

\*各施設とも、現状で行っている内容及び施設環境を常に見直し、「ただあるべき施設から、独自性のある施設へ」の転換を図っていく必要があります。

生涯学習施設 施策シート

施設名	社会教育センター	テーマ	人と文化の集積処	
平成30年度年間利用者目標	36,000人			
平成29年度（実績）	平成30年度（見込）	平成31年度（目標）	平成32年度（目標）	平成33年度（目標）
34,081人	35,000人	36,000人	37,000人	38,000人

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
1	HAKONE大学を継続実施します。	全8講座の実施 受講者平均17名（68%）	新規受講者の増加

課題の原因	PR方法と講座内容など	解決策	受けとなる魅力的な講座の開催
-------	-------------	-----	----------------

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	受講者定員25名に対し、19名（85%）の受講率とする。
	平成32年度	受講者定員25名に対し、22名（90%）の受講率とする。
	平成33年度	受講者定員25名に対し、23名（92%）の受講率とする。

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
2	図書サービスの向上を図ります。	社会教育センター図書室への導線と室内環境の整備（貸出冊数/人口1.85冊）	POPを活用した図書紹介コーナーは大好評だが、利用人数の大幅増加までには至らなかった。

課題の原因	既存の利用者だけでなく多くの方々の興味を引くように、様々なジャンルの紹介とPRの強化、鮮度を保った継続が必要。	解決策	執務時間内には限られるが各出張所・教育委員会へも社教C、きつつき号、仙石原公民館での借用本を返却できるようにする。
-------	---	-----	---

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	社会教育センターの図書紹介コーナーの充実並びに児童図書の冊数を増させ（700冊購入）、貸出冊数/人口を1.95冊にする。
	平成32年度	上記に加え、中学校との連携を強化し、中学生の利用増を高める。貸出冊数/人口を2.05冊にする。
	平成33年度	上記を更に充実させ。貸出冊数/人口を2.15冊にする。

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
3	プチ体験講座をはじめ、各種講座を開催します。	6講座の実施（延受講者73名）	講座により参加者に変動があった。

課題の原因	広報の工夫やニーズの把握が不足していた。	解決策	①講座内容の見直し ②曜日の選定や開催場所の工夫
-------	----------------------	-----	-----------------------------

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	有償講座(2講座)、プチ講座(3講座)を行い、延受講者80名を目指し、サークル化を促進する。
	平成32年度	有償講座(3講座)、プチ講座(3講座)を行い、延受講者90名を目指し、サークル化を促進する。
	平成33年度	有償講座(4講座)、プチ講座(2講座)を行い、延受講者100名を目指し、サークル化を促進する。



生涯学習施設 施策シート

施設名	箱根町立郷土資料館	テーマ	今と昔を伝える箱根の情報館	
平成30年度年間利用者目標	10,000人			
平成29年度（実績）	平成30年度（見込）	平成31年度（目標）	平成32年度（目標）	平成33年度（目標）
6,984人	7,580人	8,000人	9,000人	10,000人

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
1	企画展開催やホームページ等を活用し、郷土資料情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展(2回)期間中入館者3,000人</li> <li>資料のデジタルデータ化と公開</li> <li>資料館資料集の刊行(ワコインシリーズ)</li> </ul>	企画展の継続と館蔵資料データ化を進め、情報提供を更に図る。
課題の原因	企画展により館蔵資料一部公開ができたため、更なる資料提供をする必要性がある。	解決策	館蔵資料データ化及び発信を更に進め、併せて、公開の手段や閲覧方法などを検討していく。

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	企画展(年2回)開催：期間中入館者目標値3,300人 資料のデジタルデータ化と公開：目標値100件 資料館資料集の刊行(ワコインシリーズ)：目標値1件刊行
	平成32年度	企画展(年2回)開催：期間中入館者目標値3,600人 資料のデジタルデータ化と公開：目標値100件 資料館資料集の刊行(ワコインシリーズ)：目標値1件刊行
	平成33年度	企画展(年2回)開催：期間中入館者目標値3,900人 資料のデジタルデータ化と公開：目標値100件 資料館資料集の刊行(ワコインシリーズ)：目標値1件刊行

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
2	郷土資料館ボランティアを育成します。	80人(延べ人数)	ボランティアの増加と活動内容の充実を図る。
課題の原因	参加者ボランティアの固定化がみられる。資料整理や展示補助にとどまらず、更なる学習活動を目指す。	解決策	学習意欲を高め、満足感の得られる活動内容を検討する。

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	郷土資料館ボランティアへの登録者増加を目指し、参加者100人(延べ人数)とする。
	平成32年度	郷土資料館ボランティアへの登録者増加を目指し、参加者120人(延べ人数)とする。
	平成33年度	郷土資料館ボランティアへの登録者増加を目指し、参加者140人(延べ人数)とする。

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
3	箱根の歴史授業講師派遣等学習支援・サマースクール支援等、学校教育との連携強化を図ります。	17回	学校側からの学習支援体制の要望を把握する。
課題の原因	単発的な授業とならないよう生涯学習と学校教育の連携を重視する必要性がある。	解決策	わらじ教室や歴史授業を継続しつつ、館蔵資料を学習教材として利用できるよう学校教育との連携を更に図る。

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	高学年を対象とした「わらじ体験」、中学年を対象とした「昔の道具体験」などを引き続き支援し、学校教育と連携を図り、地域教育における学習支援やサマースクールを支援する講座を18回開催する。
	平成32年度	高学年を対象とした「わらじ体験」、中学年を対象とした「昔の道具体験」などを引き続き支援し、学校教育と連携を図り、地域教育における学習支援やサマースクールを支援する講座を19回開催する。
	平成33年度	高学年を対象とした「わらじ体験」、中学年を対象とした「昔の道具体験」などを引き続き支援し、学校教育と連携を図り、地域教育における学習支援やサマースクールを支援する講座を20回開催する。

生涯学習施設 施策シート

施設名	石仏群と歴史館	テーマ	俳句と歴史の里への誘い処	
平成30年度年間利用者目標	12,000人			
平成29年度（実績）	平成30年度（見込）	平成31年度（目標）	平成32年度（目標）	平成33年度（目標）
10,000人	10,000人	10,000人	11,000人	12,000人

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
1	地域協働活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡周辺の草刈等の維持管理</li> <li>・地元主催地蔵祭りや芦刈祭りなどへの協力</li> </ul>	地元地域への理解と働きかけ
課題の原因	史跡利用と地域の活性化を図るため、地元地域との協働活動が不可欠	解決策	石仏群・歴史館・東光庵に関する情報発信を行い、地元地域との連携を働きかけていく。

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	引き続き、地域協働活動を推進するとともに歴史館の在り方について建て替えも含め検討する。
	平成32年度	引き続き、東光庵芦刈まつりを支援し、H31年度の検討結果を受け、歴史館やその周辺の活用に向けて整備を実施する。
	平成33年度	H31・32年度の結果を受け、ガイドンス施設を活かした協働活動を展開する。

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
2	地域的特色をテーマとした講座イベントを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東光庵屋根葺き替え工事と見学&amp;体験会の実施（1回開催）</li> </ul>	史跡や文化施設を活かした新たなイベントの企画
課題の原因	東光庵屋根葺き替えなどハード面の整備を行い、史跡や施設を活かした活動が求められる。	解決策	探訪会の開催など史跡や文化施設の活用した新たなイベントの企画を図る。

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	地元地域と連携し、探訪会や文化施設を活かした展示・イベントを2回開催する。
	平成32年度	地元地域と連携し、探訪会や文化施設を活かした展示・イベントを3回開催する。
	平成33年度	地元地域と連携し、探訪会や文化施設を活かした展示・イベントを4回開催する。

生涯学習施設 施策シート

施設名	箱根関所・関所資料館	テーマ	江戸時代の体感処	
平成30年度年間利用者目標	350,000人			
平成29年度（実績）	平成30年度（見込）	平成31年度（目標）	平成32年度（目標）	平成33年度（目標）
372,860人	348,511人	377,988人	389,000人	400,000人

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
1	完全復元施設の維持修繕を継続的に実施します。	屋外施設補修工事（4カ年計画の4年目）。本年度を以て木柵、板塀等屋外施設の腐朽防止剤含浸材使用による改修工事を完了。腐朽防止及び衣装回復のための渋墨塗装を継続的に実施。	関所建物本体の計画的な維持補修が必要。
課題の原因	建物本体の経年劣化		解決策
			維持補修計画の策定

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	箱根関跡現況調査の実施
	平成32年度	現況調査に基づく建物維持補修計画の策定
	平成33年度	現況調査に基づく建物維持補修計画の策定

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
2	ガイドブックやパンフレット、SNSを駆使し、箱根関所、および周辺施設情報の発信に努めるとともに、周辺施設との協働による「箱根芦ノ湖“夢”劇場」の定着を図り、地域活性化の拠点施設としての活動を展開します。	旅行者へパンフレット等の郵送、町内宿泊施設、交通拠点施設（小田原駅・湯本駅構内）へパンフレットの常置化を実施。「箱根芦ノ湖“夢”劇場」参画施設の増加（2施設→4施設へ）	「箱根芦ノ湖“夢”劇場」の拡大と定着
課題の原因	地域における「“夢”劇場」認知度の希薄さ		解決策
			積極的広報活動の展開による元箱根地区への浸透

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	「“夢”劇場」参画施設を6施設にする。
	平成32年度	「“夢”劇場」を地域協働活動とするための運営組織の構築をして、参画施設を8施設にする。
	平成33年度	運営組織による活動実施の定着を図り、参画施設を10施設にする。

No.	施策	実績（平成30年度）	課題
3	学校利用プログラムの活用を促進し、教育施設として修学旅行や校外学習などで来訪される学校に対し、現地体験を通じた歴史教育の充実に寄与します。	学校利用プログラム利用校実績 95校（対前年度36校増）	利用学校情報の分析により、学校利用誘致方針を検討する必要がある。
課題の原因	利用学校の地域的片寄が見られる	解決策	広報範囲の見直し

年度別実施内容	年度	施策内容
	平成31年度	プログラム配布計画の見直しを行い、利用学校を100校にする。
	平成32年度	プログラム配布計画の見直しとプログラムメニューの新規作成して、利用学校を110校にする。
	平成33年度	プログラム利用校情報の分析を図りながら、利用学校を120校にする。